

# 修学旅行

School trip news paper

## 新聞

3年3組 11番

小川

### 黄金に光り輝く金閣寺

金閣寺は、1994年に世界文化遺産に登録されました。

金閣寺は、その名前の通り、金で覆われています。山に囲まれた湖の中で輝く金閣寺は、自分の目で見たとき美しい、きれいだと思わず言葉がもれました。写真で見ると金閣寺と比べても明らかにスケールも大きいです。それだけではなく、金閣寺を歩く砂利道から見渡すことのできる景色もとてもきれいでした。

### 日本への象徴、銀閣寺

銀閣寺は、1482年に室町幕府八代将軍、足利義政によって建てられました。銀閣寺には、国宝の観音殿と東求堂があります。銀閣寺の特徴を考えたときに、書院造りや、書院造りがあるのは、東求堂です。ちなみに、社会の教科書にのっている書院造りは、この東求堂のみです。

銀閣寺の総門から中門への参道は、白砂の道に、両脇に設けられた大刈込の生け垣がある道になっています。銀閣寺は、日本への象徴していました。



### 黄金の金閣寺と紅を語る銀閣寺の比較

まず、金閣寺の特徴は、とても豪華であること。湖の水にも、金閣寺の姿が映るということ。山や湖の中にぼつんとあることで、逆に目立っているということ。です。

では次に、銀閣寺の特徴は、ということ。心に落ち着きをもたらすこと。金閣寺の逆で、外装よりも内装にカを入れているということ。中庭に、たくさん木を植えて、そこを配置させることで、見る人をあきさせないこと。です。

この、金閣寺と、銀閣寺の特徴から、分かったことは、この2つの寺は、真逆の造り方になっていること。です。金閣寺は主に、派手や、に造られています。銀閣寺は、控えめに造られている、ことが分かりました。

### 龍安寺にほびこされた工夫

教科書にのるほど有名な龍安寺は、室町時代末期に優れた禅僧によって作庭されました。

龍安寺の石庭は、東西25メートル、南北10メートルの空間に、白砂を敷き詰め、15個の石を配置したものです。この石庭の意味は、今だ謎に包まれており、見る人の自由な解釈に委ねられています。

この石庭の15個の石は、ほぼ全ての角度から見ても、4個しか見えない造りになっています。昔の人に、これほびすという技術を持って、いたこと。とても驚きました。しかし、いろいろな角度から石庭を見ると、石が15個見える角度があります。ヒントとしては、その場所が正面ではないこと。それは、ともかくとして、龍安寺は、外国から来た人も観光する。

京都の有名なところの一つです。龍安寺の石庭だけでなく、本殿への作りにも注目して見てみてください。きっと自分かとても気になるものや、興味を持つものがあると思います。

ぜひ、京都へ行った際には、龍安寺にも行ってみてください。

### やはり京都の街並は、栃木と比べて何かまちがっている...と思う

京都の街を歩いてみると、栃木では普段よく見かける車が自由行動のときに、見かけませんでした。また、商店街もたくさんある。京都名物を売っているお店がありました。他にも、栃木では見かけないこと。ない。白黒のコンビニエンスストアを見かけることもありません。

一方、栃木では、あまり商店街を見かけないし、自元の名物を売っているお店も少ない。思い出しました。京都へ行って見て、栃木の観光客を増やすのなら、京都の真似をしてみるのが良いと思います。

### 感想

修学旅行全体を通して、とても楽しかったです。一日目の朝から自身事故などがあたり、雨に降られたりしましたが、2日目、三日目は晴れて、とても良かったです。他にも、クラスの仲間との絆を深めることができたので、本当に修学旅行へ行くことができて、良かったです。

### 班のメンバー

- 班長 池下
- 副班長 小川
- 班員 白井、関口、高橋、富田